

第1学年 国語科学習指導案

1. 単元名 よくきいて あてよう「わたしは、なんでしょう」

2. 単元のねらい

- 出題・質問・応答のやり取りをして、クイズを楽しんでいる。【関心・意欲・態度】
- 当ててほしいものの特徴を聞き手に分かりやすく話し、分からないことや詳しく聞きたいことを尋ねたり、答えたりすることができる。【話す・聞く】

3. 指導にあたって

こんな子どもだから

- 本学級の子どもたちは、日常生活の中で、話をすることが好きで、学校で楽しかったことや頑張ったことなど、身近な出来事を進んで話す子どもが多い。しかし、まだ一方的に話すことの方が多く、相手の話に耳を傾けたり、聞き返したりするまでには育っていない。
- 子どもたちは、単元「みんなにしらせたこと」では、夏休みにしたことや楽しかったことを具体物を使い、身近な出来事を楽しく話すことができた。また、話し手の話を受けて質問をすることまでは経験してきている。
- 本単元は、クイズに参加する人同士が、聞き手と話し手との立場に交互に立ちながら、必要感を持ち、目的と相手に応じ「尋ねたり応答したりする」という経験を通して、正確に伝える力が高まることをねらっている。また、この学習を通して、聞き手が話し手を思いやり、話し手が聞き手を配慮してともに協力し合っていることを成立させるという、通じ合いの基本的な心や態度を養うことができると考える。

キラキラ学習とのかかわり

- 子どもたちは、生活科「とびだせあそびたい」の学習で、自然物や身の回りのものを利用して遊びを考え、さらに楽しめるように工夫し、発展させて遊んだ。それを絵や文に表し、いきいきと友だちに伝えていた。これは、国語科で発表の仕方や話の聞き方について繰り返し学習してきたことで、自分の思いや願いを相手に伝えることができるようになったからだと考える。
- 本単元「わたしは、なんでしょう」は、クイズの学習を通して、特徴が分かるようにはっきり話したり、答えを予想しながら尋ねたりそれに答えたりして応答を楽しむ学習である。やり取りをグループから全体へと広げ、友だちの前で話す経験を多く積むことで表現する力を高めていきたい。自分が分からないことを聞き返したり、もっと知りたいことを聞き出したり、その受け答えとして話し手は、さらに分かってもらうよう話すことで、表現する力を養うことができるのではないかと考える。また、この力は生活科の学習における交流活動の場に生かされるのではないかと考える。

こんな支援で

- つかむ段階で、子どもたちの身近なものを問題にして教師がクイズを出題することで、クイズの方法や問題の作り方を理解させたり、興味・関心をもたせたりする。また、さがる段階でも教師が聞き手になって尋ねることで、クイズの手順を理解させ、さらに意欲を高めさせる。
- クイズの手順を視覚的に示し、教室に掲示しておくことで、クイズのやりかたを理解させる。
- やり取りをグループから全体へと広げることによって話す経験を多く積み、自信をもって話すことができるようにさせる。
- 当ててほしいものの特徴を多く書き出させ、その中からヒントを選ばせることで、自分の伝えたいことをはっきりさせたり、聞き手に答えを予想させながら質問を考えさせたりする。

こんな力を

- 出題・質問・応答のやり取りをしてクイズを楽しむことができる。
- 当ててほしいものの特徴を聞き手に分かりやすく話すことができる。
- 大事なことを落とさないようにしながら、分からないことや詳しく聞きたいことを尋ねることができる。

4. 主な学習活動と内容・評価規準および教師の支援 (5時間)

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つかむ (2)	1. 「わたしは、なんでしよう」クイズの方法を知り、学習の見通しをもつ。① ○教師の問題提示に対する応答 ○クイズのルール作り ・クイズの手順 ・応答のしかた 2. クイズの問題を作る① ○あててほしいものの決定	【関・意・態】 クイズの手順が分かり、「わたしは、なんでしよう」クイズに興味・関心をもっている。 (行動観察) 【書く】 学校にあるものを思い浮かべ、楽しんで問題を作っている。 (ワークシート・行動観察)	※ ヒントを一つだけ教師が出し、もっとヒントがあつたり、質問したりすることができれば答えが見つかることに気付かせ、自分たちもクイズをしたいという意欲をもたせる。 ※ 学校にあるもので問題にできそうなものの名前を自由に挙げさせることで問題作りに生かす。 ※ 実際に校内や運動場に向かせることで、問題のイメージを具体的につかませやすくする。
さぐる (2) 本時 4 / 5	3. クイズの問題を作りヒントを考える。① ○当ててほしいものの特徴見つけ ○問題のヒント作り 4. 問題を出す練習をする。(本時4/5) ① ○クイズの手順や応答の仕方の確認 ○グループで練習 ○学習のふり返り	【書く】 ヒントに書く内容が分かり、楽しんで問題を作っている。 (カード) 【話す・聞く】 特徴が分かるように話したり、答えを予想しながら尋ねたり、それに応答したりすることができる。 (行動観察)	※ ヒントをなるべくたくさん出させることで質問に答える際に生かし、さらにその中から二つに絞り込むことで、自分の伝えたいことをはっきりさせる。 ※ できあがった問題を読み返すことで、誤字・脱字がないか確認させる。 ※ 教師が聞き手となり尋ね方の手本をみせたりクイズの手順を掲示したりすることで、やり取りの仕方やクイズの手順を理解させ、意欲を高めさせる。 ※ 話し方・聞き方の観点を掲示することで、話す・聞くのめあてをもたせる。
ふり返る (1)	5. 「わたしは、なんでしよう」クイズをする。① ○クイズの手順の確認 ○全体の場でクイズ ○活動のふり返り	【関・意・態】 友だちとクイズを楽しんでいる。 (行動観察) 【話す・聞く】 特徴が分かるように話したり、答えを予想しながら尋ねたり、それに応答したりすることができる。 (行動観察)	※ 話し方・聞き方を掲示することで、話す・聞くのめあてをもたせる。 ※ 聞き手に分かるように話したり、答えを予想しながら質問したりしていたかなどを学習プリントに書かせることで、学習全体についての自己評価をさせる。

5. 本 時 (4 / 5)

1年 組教室

6. 本時目標

- グループでクイズのやり取りを楽しんでいる。 【関心・意欲・態度】
- はっきりした発音でクイズを出題したり，聞き手の質問にあった応答をしたりすることができる。 【話す・聞く】
- 友だちの話を最後まで聞き，答えを予想しながら尋ねることができる。 【話す・聞く】

7. 本時指導の考え方

本時までに子どもたちは，教師の問題提示によってクイズの方法を知ったり，ルールを作ったりしてそのような活動を通して，自分たちもクイズをしてみたいという意欲をもっている。そこで子どもたちはクイズの問題やヒントを考えており，クイズを出し合うことを楽しみにしている。

本時では，はっきりとした発音で話したり，問題のヒントをよく聞いて質問したり，それに答えたりして，クイズのやり取りを楽しむことをねらいとしている。

そのために，教師が聞き手となり尋ね方の手本を見せることで，やり取りの仕方やクイズの手順を理解させ，意欲を高めさせていきたい。さらに，これまでの学習で学んだ，発表の仕方・話の聞き方の観点を掲示することで，話をする時や聞く時のめあてをもつことができると考える。

まず，「『わたしは，なんでしょう』クイズをグループでしよう」というめあてを確かめる。その際，話し手や聞き手の観点を明らかにし，具体的な目標をもたせる。

次に，クイズの話し方や質問の仕方を確認する。その際に教師が聞き手となり，尋ね方の手本をみせることで，やり取りの仕方やクイズの手順を理解させ，意欲を高めさせたい。また，クイズの手順と発表の仕方・話の聞き方の観点を掲示しておき，確認するようにする。

そして，4，5人のグループごとに，クイズのやり取りをさせていく。子どもたちがクイズのやり取りをしている間，グループを回り，本時目標が達成できていない子どもたちに助言していく。なかなか答えが出ないグループには，「5回質問しても分からなかったら正解を言ってもらおう」といったような進捗がスムーズにいくようなルールを提案するなど，原因を見極め，適切な支援をする。グループピングについては，発表内容が片寄らないように配慮する。クイズが一人終わるごとに出题者と答えをメモさせることで，学習をふり返らせる際に生かすようにさせる。

最後に，聞き手に分かるように話したり，答えを予想しながら質問したりしていたかなどをふり返りカードに書かせることで，学習全体についての自己評価をし，全体の場で発表するようにする。

8. 準 備

(児 童) クイズカード

(教 師) ふり返りカード 発表の記録カード 発表の仕方・話の聞き方の掲示物
クイズの手順の掲示物

9. 本時学習の展開

主な学習活動 と 内容	教 師 の 支 援
<p>1. これまでの学習をふり返り，本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">グループで「わたしは，なんでしょう」クイズをしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手・・・相手に問題がよく分かるように話す。尋ねられたことにきちんと答える。 ・聞き手・・・答えを予想しながら尋ねる <p>2. クイズの話し方，質問の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進め方の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・出題（ヒント2つ） ・質問（一人1回） ・応答（質問した順に） ・正解（全員不正解の場合はヒントをもう1つ言う） ○話し方・聞き方の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・はっきりとした発音で話す ・問題や友だちの質問をしっかり聞く ・聞きたいことが分かるように質問する ・丁寧な言葉で話す <p>3. グループになってクイズを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クイズの手順の確認 ○出題者の順番の確認 ○出題者と答えを記録 	<p>※ 前時で考えたクイズのやり取りを確認する。</p> <p>※ 発表内容が偏らないように，事前にグルーピングしておく。</p> <p>※ 教師が聞き手となり尋ね方の手本をみせたりクイズの手順を掲示したりすることで，やり取りの仕方やクイズの手順を理解させ，意欲を高めさせる。</p> <p>※ 話し方・聞き方を掲示することで，話す・聞くのめあてをもたせる。</p> <p>※ 活動がスムーズにできるように，個別に声かけをしていく。</p> <p>※ クイズが一人終わるごとに出題者の名前と答えをメモすることで，ふり返る際に生かすようにさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>評価規準</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し手は，声の大きさに気をつけて，聞き手に分かるように話したり，聞き手の質問にあった応答をしている。 ○ 聞き手は，友だちの話を最後まで聞き，答えを予想しながら尋ねている。 <p style="text-align: right;">（行動観察・ふり返りカード）</p> </div>	
<p>4. 本時の学習をふり返り，次時の学習へのめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ふり返りカード」の記入 <ul style="list-style-type: none"> ・話すときや聞くときのめあてをふり返る ○学習をふり返っての発表 ○次時のめあての確認 	<p>※ 聞き手に分かるように話したり，答えを予想しながら質問したりしていたかなどをふり返りカードに書かせることで，学習全体についての自己評価をさせる。</p>